

令和4年度 環境教育指導者等派遣事業

よこすか環境教室事例集



横須賀市のエコ先生が環境教育・環境学習をお手伝いします

横須賀市環境部環境政策課

はじめに

「よこすか環境教室（環境教育指導者派遣事業）」は、環境に関する専門的知識や経験のある市民ボランティア・市民活動団体・市内企業等の方を環境教育指導者として登録し、市立小学校をはじめとする環境教育の場へ派遣するものです。この事業によって、多くの方が環境教育・環境学習の機会を持ち、環境に対する理解や関心が深まることを目指しています。また、それにともない、横須賀市での環境保全活動がさらに活発になることを目的としています。

* 「よこすか環境教室」は、平成 27 年度から定めた当事業の愛称です。

目 次

学校ビオトープを学ぶ （市立大塚台小学校 4 年生）	3
鷹取山で自然観察会 （市立浦郷小学校 4 年生）	5
猿島って知ってる？、海のごみ、海っていいな （市立根岸小学校 6 年 2 組・3 組）	7
猿島って知ってる？、海のごみ （市立根岸小学校 6 年 1 組）	9
アクティブなゲームによる生態系と温暖化の理解 （市立武山保育園 4・5 歳児）	11
アクティブなゲームによる生態系と温暖化の理解 （市立ハイランド保育園 5 歳児）	13
アクティブなゲームによる生態系と温暖化の理解 （市立中央こども園 4・5 歳児）	15
海のプラスチックごみのこと （市立野比東小学校 4 年生）	17
海のプラスチックごみのこと （市立鴨居保育園 4・5 歳児）	19
〔参考〕	
環境教育指導者派遣テーマ一覧（園児、小学生、中学生、一般用）	21
環境教育指導者等派遣申請書	30

「よこすか環境教室」を申し込むにはどうするの？

①横須賀市環境政策課へ連絡

どんな学習をしたいか教えてください。様々な分野のプログラムをご紹介します。お電話、FAX、Eメールでも受付しております。

巻末の「テーマ一覧」、「申請書」もご参照ください。

②環境教育指導者と打合せ

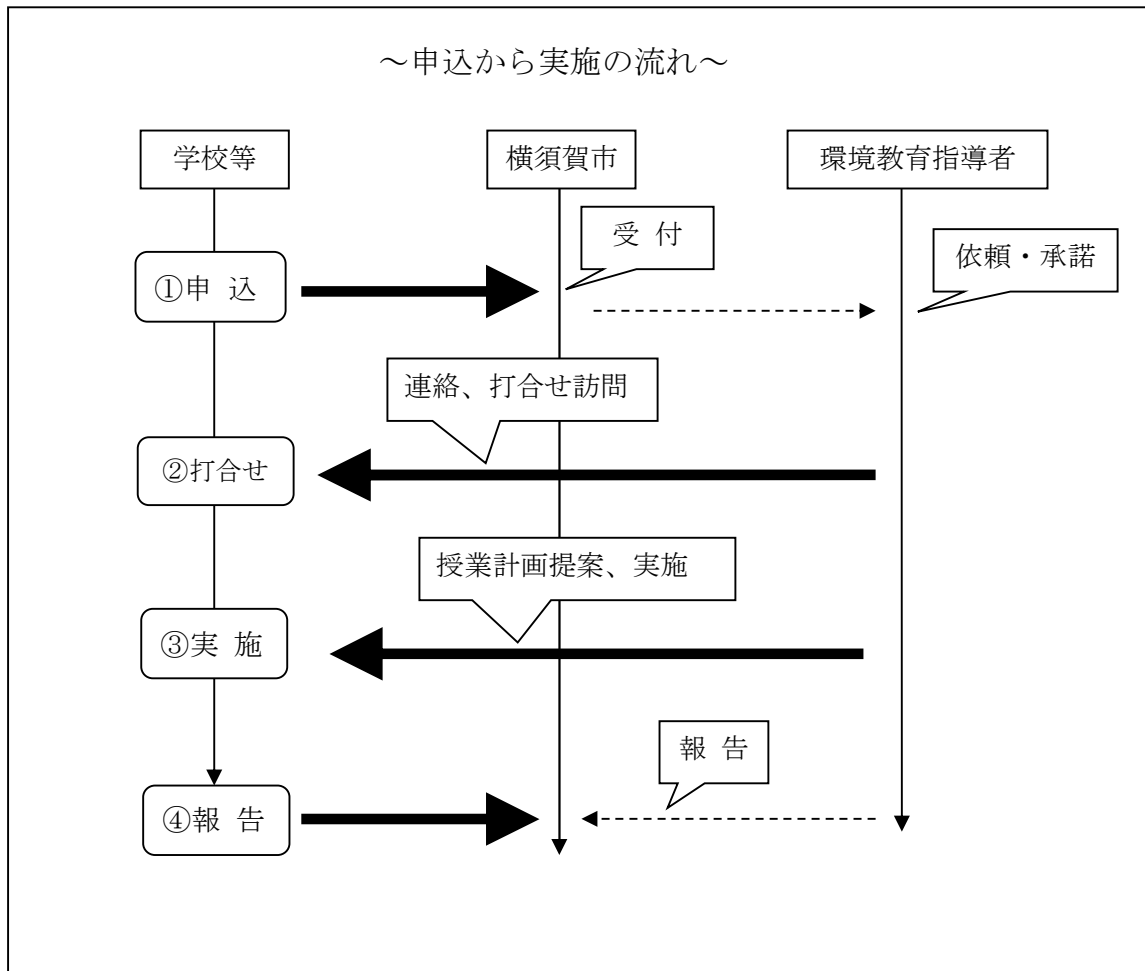
指導者から申込者へご連絡します。日程の打合せ等行います。学習内容については、指導者が計画を立てて、ご提案します。

③実施

環境教育指導者が先生となって、環境について学習します。

④報告

当日の内容や感想などを簡単にご報告ください。



学校ビオトープを学ぶ

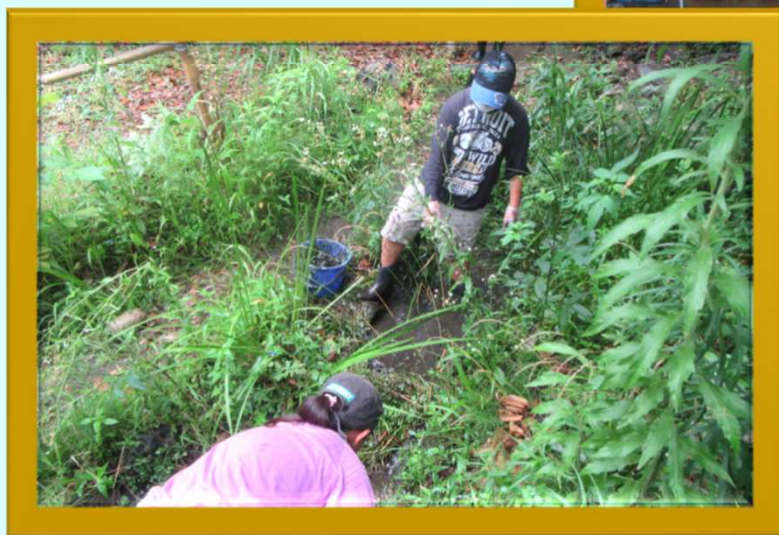
横須賀市立大塚台小学校 4年生

派遣内容

- 実施日 令和4年7月13日（水）10時20分～11時55分
- 場所 教室、ビオトープ
- 内容 まず、教室でビオトープについて概念を含めて説明しました。次に、ビオトープに移動し、放置されていたビオトープの整備（水生植物や落ち葉の除去等）し、メダカの放流を行った。

実際の授業風景

教室でビオトープについて話を聞きました



水が流れるように整備しました



作業中に生き物を発見

オタマジャクシの放流も行いました



メダカが生息できるよう、池の再生作業を行いました

先生のコメント

座学とフィールドワークのバランスが良く、子どもたちもすごくやりがいを感じていました。

鷹取山で自然観察会

横須賀市立浦郷小学校 4 年生

派遣内容

- 実施日 令和4年7月14日（木）9時30分～11時30分
- 場所 鷹取山
- 内容 「鷹取山の自然観察ガイド」、鷹取山のビンゴ表を配布し、5班に分かれて鷹取山で自然観察を行った。虫取り網を用意して蝶などの昆虫採集も行いました。

実際の授業風景

コミュニケーションが
しっかりとれるよう
少人数の班構成で出発



適宜ガイドブック
で説明してもらい
ました



実際ににおいを嗅いだり、触ったりしました

より身近に植物・昆虫に触れ合うことができました



学校に戻って振り返りをしました

先生のコメント

総合学習で進めてきた生き物と環境の関係について、鷹取山に調査に行き、これまでの取り組みを検証する活動となりました。

猿島って知ってる？・海のごみ・海っていいな

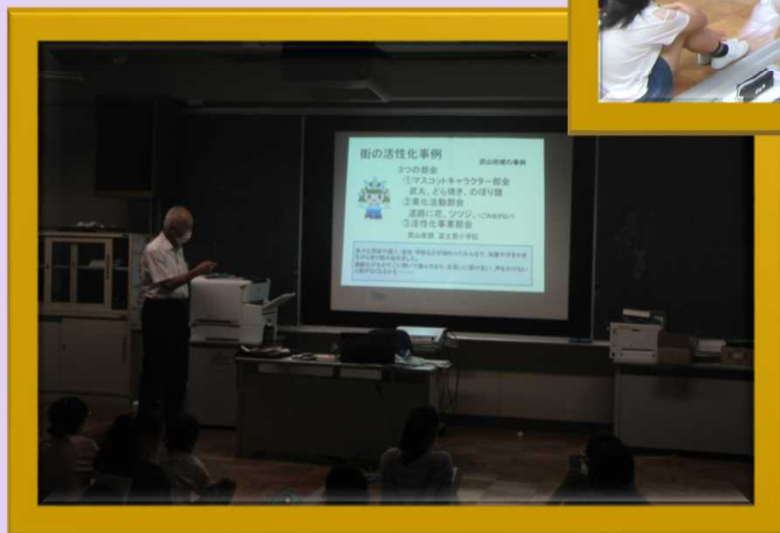
横須賀市立根岸小学校6年2組・3組

派遣内容

- 実施日 令和4年9月2日（金）9時30分～11時30分
- 場所 多目的室
- 内容 後日実施する猿島自然観察会の事前学習をメインに行いました。それに加え、2組は「海のごみ」・3組は「街の活性化」についても説明しました。

実際の授業風景

後日行く猿島について学びました



3組のサブテーマは「街の活性化」について



猿島砂浜で行う砂鉄
取りの疑似体験

2組のサブテーマは
「海のごみ」について



気づいたこと、
関心を持ったこと
を発表

先生の コメント

猿島については概略や歴史的な意味をわかりやすく説明いただきました。クラスごとに取り組んでいる内容が違うため、多岐に渡った内容を用意いただいて助かりました。

猿島って知ってる？・海のごみ

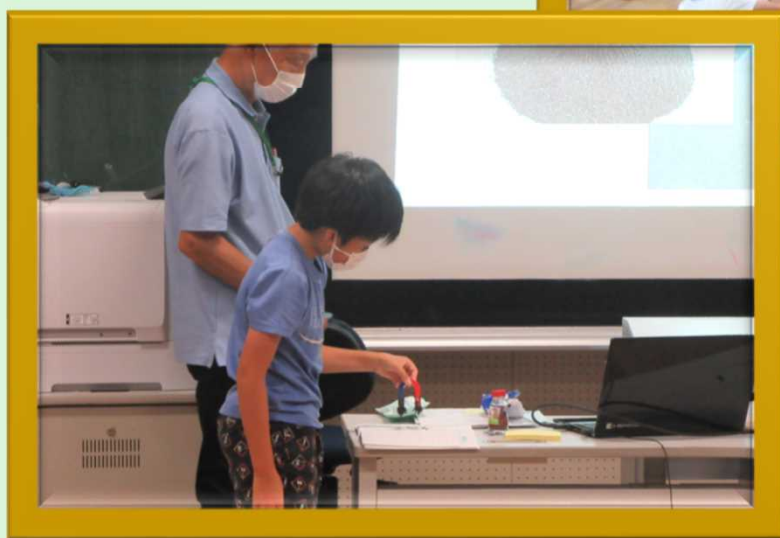
横須賀市立根岸小学校 6年1組

派遣内容

- 実施日 令和4年9月6日（火）9時30分～10時20分
- 場所 多目的室
- 内容 後日実施する猿島自然観察会の事前学習をメインに行いました。それに加え、「海のごみ」についても説明しました。

実際の授業風景

後日行く猿島について
学びました



砂鉄取りの疑似体験



猿島のレンガの特徴
を説明しました

サブテーマの「海のごみ」について



「どんな海を残したいですか？」という質問について考えました

先生の コメント

猿島に行くことで、歴史や自然にさらに興味をもち、自分たちのまちの魅力や今後できることを楽しく考えられるきっかけづくりを与えていただき、とても良い機会となった。

アクティブなゲームによる生態系と 温暖化の理解

横須賀市立武山保育園 4・5歳児

派遣内容

- 実施日 令和4年7月12日（火） 9時00分～10時30分
- 場所 保育室
- 内容 すみか・食料・水の好きなポーズを選んで、ペアを探す
「生態系ゲーム」
温室効果ガスと太陽光の2チームに分かれて地球温暖化
について学ぶ「温暖化ゲーム」

実際の授業風景

生態系ゲームの
ルール説明



すみか・食料・水
の中なら好きな
ポーズを選びます



温暖化ゲームの
ルール説明

温室効果ガスチーム
が太陽光チームを
捕まえます



最後にまとめの
お話を聞きました



先生の
コメント

テーマ・話の内容が子どもたちには少し難しかったですが、
ゲームを通じて楽しく学ぶことができました。

アクティブなゲームによる生態系と 温暖化の理解

横須賀市立ハイランド保育園 5歳児

派遣内容

- 実施日 令和4年9月27日（火） 9時30分～10時30分
- 場所 保育室
- 内容 すみか・食料・水の好きなポーズを選んで、ペアを探す
「生態系ゲーム」
温室効果ガスと太陽光の2チームに分かれて地球温暖化
について学ぶ「温暖化ゲーム」

実際の授業風景

同じポーズの子を
見つけて走ります



うまくペアになれ
ました



最初は温室効果
ガスの子が少ない
ですが

ゲームを進めると
温室効果ガスの子
が増えていきます



最後にまとめの
お話を聞きました

先生の コメント

よこすか環境教室終了後、戸外で遊んでいるときに、ゲームを思い出し、4歳児などに教えながら楽しむ姿がありました。

アクティブなゲームによる生態系と 温暖化の理解

横須賀市立中央こども園 4・5 歳児

派遣内容

- 実施日 令和4年9月28日（水）9時30分～10時30分
- 場所 3階 屋上庭園
- 内容 すみか・食料・水の好きなポーズを選んで、ペアを探す
「生態系ゲーム」
温室効果ガスと太陽光の2チームに分かれて地球温暖化
について学ぶ「温暖化ゲーム」

実際の授業風景

天気が良かったので
屋外で実施しました



好きなポーズをします



太陽光の子は温室
効果ガスに捕まら
ないようにします

地球のボールを使って
説明しました



SDGsについて
軽く説明して
もらいました

先生の コメント

ぬいぐるみを使用したり、ゲームを取り入れて頂くことで、わかりやすく子どもたちも興味をもって話を聞くことができました。

海のプラスチックごみのこと

横須賀市立野比東小学校 4年生

派遣内容

- 実施日 令和4年6月29日（水）10時30分～12時15分
- 場所 ホール、図書室
- 内容 野比海岸の海岸ごみの現状から、日本の他の県、東アジア、太平洋のプラスチックごみの悲惨な現状を順番に紹介しました。
SDGsと海岸ゴミ及びクリーンエネルギーとのつながりについても説明し、風力発電模型を子どもたち全員に体験してもらいました。
折り紙のゴミ箱作成、紙ストロートンボの工作も行いました。

実際の授業風景

海のごみの現状について話を聞きました



紙のゴミ箱作り



風力発電模型に風を送り、LEDランプが点灯することを体験

紙のストロートンボ作り



作ったストロートンボを飛ばしました

先生のコメント

工作や、実験など、お話だけではなく子どもたちが動き楽しみながら、学ぶ場面を用意していただいたことがよかったです。

海のプラスチックごみのこと

横須賀市立鴨居保育園 4・5歳児

派遣内容

- 実施日 令和4年11月1日（火） 9時25分～10時40分
- 場所 保育室
- 内容 海のごみの様子やその中でも生きている生物などを資料で説明しました。
海に見立てたマットの上でごみ釣りゲームを行いました。

実際の授業風景

海のごみについて
説明しました



海にごみがたくさん
落ちています



海をきれいにする
ためにごみを釣り
上げます

ごみは分別して
ごみ箱に捨てます



釣った魚を海に戻
して、きれいな海
になりました

先生の コメント

子どもたちは楽しみながら、「ごみを集める」「海をきれいにする」「ごみを分別する」という気持ちを持ち、楽しみながら行うことができました。

令和5年度環境教育指導者等派遣事業テーマ一覧(園児)

○地球温暖化

番号	テーマ	内容・ねらい	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備考
1	アクティブなゲームによる生態系と温暖化の理解	イ. ○○の気持ち⇒生物と環境の関係を理解する ロ. 漁師が来たぞ⇒人と自然の関係を理解する ハ. 光の子供たち⇒温暖化の仕組みを理解する	榎本 裕	40分程度	1・2			走れるスペース 補助者1、2名つく

○廃棄物

番号	テーマ	詳細	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備考
2	海のプラスチックごみのこと	最初に横須賀の海岸のごみの様子を紹介。 日本の他の海岸の様子、外国の海岸、ゴミが集まった太平洋の島の様子などを紹介。 海に見立てたブルーシート上でゴミ釣りゲームを実施。釣り上げたゴミを分別。プラスチックゴミを間違えて食べてしまう魚や鳥の様子を示す。	吉田 誠裕	40分程度	1	20人程度	PC プロジェクター	補助指導者 1～2名

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

令和5年度よこすか環境教室(環境教育指導者等派遣事業)テーマ一覧(小学生)

令和4年度追加されたテーマ

1. 水環境

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
1-1	海っていいな	海が見えるところでじっと海を見る	人が抱く感想の違いを知る	林 但	3・4・5・6	45分	2・3・4	40人		・プリントを用意して配付する
1-2	海と私たちの生活の関係	海が私たちの生活が、いろいろなところで強く関係していることを学ぶ。	海を含めた地球環境への親近感を高める。	市川 洋	3・4・5・6	45分	4	35人	プロジェクタ、スクリーン、模造紙、サインペン、付箋紙	

2. 身近な自然

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
2-1	学校ビオトープを学ぶ	○学校ビオトープを見直す ・ビオトープとは ・生物がすみやすい環境(座学と作業) ・みんなができること、やってほしいこと ・生き物、植物の観察	□気づき、観察 ・ビオトープの生き物、植物 ・命の大切さ □問題点を知る ・ビオトープの維持管理 ・外来種(外来生物)	遠田和雄 中村修二郎 小嶋 修一	4・5・6	座学45分 フィールド45分 座学とフィールド合わせて90分	1・2	35人	プロジェクター スクリーン よごれてよい服装 着替え	【対象】ビオトープのある学校 ビオトープは人が作った自然環境なので、維持管理が大切です。
2-2	みんなのトンボ池	トンボのすむ池の環境について、グループ等で討論を通して、自分とは違う観点で環境を見ているほかの人の意見を聞く	人間の土地利用が生き物の生息地に与える影響が検討できる	林 但	5・6	90分	2・4	40人	模造紙	
2-3	落ち葉のグラデーション	落ち葉を5枚拾い順番に並べてみる	「落ち葉」といってもいろいろな形や色があることを認識する	林 但	3・4・5	45分	2・3・4	40人	タコ糸、黒い紙、透明なテープ	
2-4	猿島って知ってる？	・エコミュージアム猿島について自然から歴史的文化遺産まで調べてみよう	・植物や生物の営みを知る ・歴史的文化遺産を知る	林 但	3・4・5・6	90分	2・3・4	40人	バインダー	・プリントを用意して配付する ・補助スタッフが必要
2-5	木の恩恵を再確認する(PLTプログラム) 水資源、生命の希少性(PWプログラム+)	・木に3回、乾杯しよう ・もし地球が○○だったら⇒(どのくらい地球はぬれているか、他)	⇒社会的、生態的、経済的に木の効果を分析する ⇒地球に飲料水はどのくらい有るか、生命のエリアは？	榎本 裕	3・4・5・6	45分	1・4	40人	模造紙、付箋数種類、マーカーセット、A4用紙数枚ずつ	補助者は児童10人に対して1人
2-6	津久井っていいね！	A自然体験 ・里山で自然に触れる Bパワーポイント ・ホテルについて ・湿地や田んぼがなぜ大事なの？	・五感で自然に触れる ・ホテルや水生生物が棲む環境について考える	津久井の自然を守る会	3・4・5・6	45分以上 内容によって90分	3	1クラス	Bパワーポイントの場合 PC、プロジェクター、スクリーン	【津久井5丁目】 (京急長沢駅下車徒歩15分) ≪谷戸に入る時の注意事項≫ ・服装は長靴長袖長ズボン ・担任の先生他、1名以上付き添い ・雨天や台風の直後の場合は実施できません。

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
2-7	日本の森林について考えよう ～森林を元気にするサイクル「植え る、育てる、使う」を学ぼう～	①世界と日本森林の現状 ②森林の守り方(間伐) ③木の利用法と加工の工夫 ④身近にある木製品を見つかる	② 日本の森の現状を知り、日本の森を元気にするためには木の「手入れ(間伐)」や「木を使うこと」が大切だということを体感し、理解する ③ 普段の生活の中で日本の森のためにできることを考え、実践するきっかけの場とする	株式会社 オカムラ	3・4・5	45分	1	1クラス	プロジェクター 事前宿題: 森のイメージを文章や絵にしてみよう!	(評価:知識・技能)「持続可能な社会づくり」の担い手になるための「課題」人を取り巻く環境に関する「への気づき」をねらいとします。 SDGsを授業に織り込むことが可能です。 (授業内容対応SDGs:12,13,14,15)
2-8	鷹取山で自然観察会	①五感を使って自然体験。クサギ、ヤブニッケイ、カラスザンショウなど匂いのある葉っぱを噛むと苦いニガキを感じてもらう。 ②ピンゴ表を使って野草、昆虫などを発見する。	・地元の自然を知り、興味・関心を持ってもらう。	鷹取山自然観察会	3・4・5・6	90分	3	1～2クラス	バインダー	長袖長ズボン

3. 廃棄物

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
3-1	4年生のごみやリサイクル学習をはじめる前に	家庭からでるごみの分別がきちんとできているかなど実践、昔～最新のリサイクル方法やデータを紹介するなど生徒に興味を持たせる	ごみ問題に危機意識を持たせ、なぜごみ分別・リサイクルを一生懸命行わなければならないのかを理解させ、自主的に実行するようになる	奈良谷 裕昭	4	45分～90分	1・2・5	1クラスが良いが最大2クラス(70人)まで	・パワーポイント (PC、プロジェクタ、スクリーン) ・長テーブルまたは机5つ	事前に各生徒が自宅から排出される一週間のごみの種類などを簡単に観察しておくこと
3-2	海のごみ	・海辺のごみを拾う ・クラフトに活用	・海辺のごみの出所を知る ・クラフトの楽しさを知る	林 但	3・4・5・6	45分	2・4	40人	ひも、接着剤、模造紙など	補助スタッフが必要
3-3	不法投棄問題について考える	・通学路などのごみ拾い ・武山ハイキングコースの不法投棄現場で、現状を見学 ・10年前の撤去状況とその後について	・身の回りのポイ捨てゴミ関心を持つ ・不法投棄をなくすには、どうすれば良いか	津久井の 自然を守る会	3・4・5・6	45分以上 内容によつて90分	1・3	1クラス	・ごみ拾いの場合 ゴミ袋、トング、軍手	【武山ハイキングコース】 (京急長沢駅下車15分) ハイキングコースを歩く時は、長袖・長ズボン
3-4	教室の中の3つのRを考えよう ～毎日使っている机とイスの3Rを知り、モノを大切にすることを育てよう～	①机とイスの原材料は何？ ②世界の資源について知る ③机とイスの作られ方を知る ④ものを大切に丁寧に掃除をしてみよう! ⑤長く大切に使うために	① 毎日つかっている机・イスがどうやって作られたのか、その環境負荷も含めて知る ② 毎日使っている様々な物が環境に配慮して作られていることの理解を促す ③ 手入れをすることで気持ち良く使えることを体感し、ものを大切に使うことの重要性に気づく場とする	株式会社 オカムラ	3・4・5	45分	1・4	1クラス	・プロジェクター ・各自、水拭き用の不要になった布 事前宿題: 机と椅子の原材料について、大切にしているものを発表	(評価:知識・技能)「持続可能な社会づくり」の担い手になるための「課題」人を取り巻く環境に関する「への気づき」をねらいとします。 SDGsを授業に織り込むことが可能です。 (授業内容対応SDGs:12,13,14,15)

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
3-5	海のプラスチックごみのこと	・子供たちへの宿題として、身の回りのプラスチックの事を調べておいてもらう。特徴、長所、短所など。 以下についてプロジェクターを使って説明 ・再生されずに海ゴミとなった例 ・魚や亀などの海の生き物がエサと間違えて食べてしまう例 ・写真で横須賀の海岸のゴミ、国内の他の海岸の様子、ゴミが集まった太平洋の島など ・プラスチックゴミが海水の中の微量な有害物質を吸着し濃縮してしまう例、及びそれを回りまわって我々人間が食べてしまうことになるサイクルを示す。 授業の始めの掴みでは、風力発電機型でデモンストレーションをしたり、あらかじめ用意した牛乳パックで作ったトンボを飛ばしたりする予定。	海のプラスチックごみの現状を知ってもらい、リサイクルなど環境に対する関心意識の大切さ、SDGsの入口への理解を促す。	吉田 誠裕	1～6	40分程度	1	40人	PC プロジェクター	補助指導者 1～2名
3-6	ペットボトルのリサイクルを学ぶ	使い終わったペットボトルの行方及びリサイクル方法について、すころくを通して学ぶ	■目標 ・飲み終わったペットボトルの行方とリサイクル方法を学ぶ ・リサイクル促進に向けた取り組みを考える ■効果 ・資源としてペットボトルの有効活用に向けて、生活の中で意識、実践するためのきっかけとする。 ・リサイクルの行方に関心をもち、「資源の循環」という視点を獲得。	株式会社 JEPLAN	5・6	45～60分	4	8名以上であれば可能 1チーム4～5人で 2チーム以上が望ましい (最大人数については要調整)	・空のペットボトル (駒として使用。一人あたり3本必要) ・景品(あると尚よい)	一般的なすごろくと異なり、チーム戦(4～5人/チーム)での実施を想定
3-7	プラスチック包装容器と花王のとりくみについて	増え続けるプラスチックごみの課題に対して自分ができることを考える講座です。メーカーとしての花王の取組についても紹介しています。	よりすこやかな地球のために、一人ひとりいま何ができるかを考えます。	花王グループ カスタマー マーケティング (株)	4・5・6	45～60	1・4	10人～	プロジェクター、スクリーン、 マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大さきにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までに ご連絡ください

4. 総 合

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
4-1	地球を考え・救おう(1秒間のできごとから)	地球規模の環境変化、膨大な生産量、惑星としての地球の奇跡などから1秒間の出来事の紹介から将来に向けてのテーマ・課題の考察	地球の大切さ、地球環境保全についての問題点の提起を講義するので、それを受けて生徒自ら考える。(正解はありません。考えることが大切。)	小嶋 修一	4・5・6	・講義のみ 45分 ・検討・発表 さらに45分	1・4	35人	PC、プロジェクター、スクリーン	①講義のみでも構わない ②生徒の検討・発表は時間を変えた方が 良い ③夏休みの自由課題に選んでも良い。
4-2	安心安全ガスの防災	身を守るため、まずはそれらのメカニズムや特徴を知る事が不可欠。ここでは都市ガスの性質・特徴を学び、ガスメーターが止まってしまった場合などの復帰操作(実機)なども行う	地震大国の日本。地震が起きた時、ガスの臭いがした時、子供たちが『自身で生き抜く』ためにどのような行動をとるべきか。	東京ガスネット ワーク(株) 神奈川学校教 育情報セン ター	4・5・6	45分	1	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロ ジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時～6校時 土・日・祝日は不可
4-3	ガスの歴史とくらしの変化	日本で最初的气体事業を起こした人。エネルギーの開幕として登場した『ガス燈』明治の人々がどのような感情を抱いたのか。当時のガス燈職人紹介	文明開化で最初に取り入れられた都市ガス。昔と今の機器の発展などを知り一次エネルギーの移り変わりを知る。	東京ガスネット ワーク(株) 神奈川学校教 育情報セン ター	4・5・6	45分	1	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロ ジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時～6校時 土・日・祝日は不可

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
4-4	都市ガスが家に届くまで	エネルギー自給率の少ない日本。大半を海外から輸入。また、環境を考えた化石燃料の推移。ここでは石炭・石油の実物を紹介	都市ガスの長い道のり(製造から家に届くまで)を全て知ること、エネルギーの大切さ、家庭で出来る省エネを学びとる。	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	4・5・6	45分	1	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時～6校時 土・日・祝日は不可
4-5	燃料電池って何だろう	クリーンで効率的な次世代発電システム。再生可能エネルギーなどの長短所も実験を通して学びます。	地球温暖化である二酸化炭素を出さない科学の電気『燃料電池』を紹介。実験では実際に発電し、体験します。電気とエネルギーの発展を学びとる	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	5・6	45分	1・2	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時～6校時 土・日・祝日は不可
4-6	はじめよう！エコ・クッキング	食品ロスは全国で約600万トン。食品を作るための大量消費エネルギー。地産地消・旬の食材など多面に渡り食と環境や省エネ施策を紹介しします。	買物・料理・食事・片付けにも大量のエネルギーが関わっていることを知り家庭でも実践出来ることを話し合うきっかけ作りとして学びとる	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	5・6	45分	1・2	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時～6校時 土・日・祝日は不可
4-7	あかりのエコ教室	なぜLEDはエコなあかりなのか？実験などで考察すると共に、日頃の暮らしの中でエコを実践するにはどうしたらよいかを考えます。		パナソニック株式会社	4・5・6	45分	2	クラス単位(40名以内)	筆記用具 プロジェクター、スクリーン	
4-8	自然エネルギーの活用	地球温暖化や、自然エネルギーの活用の大切さを学びます。		パナソニック株式会社	4・5・6	45分	2	クラス単位(40名以内)	筆記用具 プロジェクター、スクリーン	
4-9	自分事として考えるSDGs	産業の発展と持続可能な社会との関わりについて子どもたちが自分事として考える機会を提供します。		桐谷 範彦	5・6年	45分	1・4	40人	筆記用具 プロジェクター、スクリーン	
4-10	みんなが幸せになる原材料調達 の取り組み講座	ふだん使っている身近な花王製品が生まれるまでを学びながら企業が果たすべき人権への配慮、社会的責任について学びます。	フェアトレード(公正な貿易)とは何かを学び、今の自分に何が出来るのか考えるきっかけを作ります。	花王グループ カスタマー マーケティング(株)	4・5・6	45分	1・4	10人～	プロジェクター、スクリーン、 マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大きさにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までにご連絡 ください

5. 休日、春・夏・秋休みの野外体験学習

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
5-1	古道散策と、エコロジカル	しょうぶ園～沢山池の里山～山科台～しょうぶ園のルート 山道や林を歩きながらの謎ときや、昔の暮らしの追体験を行います。	エネルギーや廃棄物から循環型の生活を考える	榎本 裕	1～6	3～4時間	3	20人		補助者1人必要

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

令和5年度環境教育指導者等派遣事業テーマ一覧(中学生)

令和4年度追加されたテーマ

1. 水環境

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
1-1	海っていいな	海が見えるところでじっと海を見る	人が抱く感想の違いを知る	林 但	1・2・3	45分	2・3・4	40人		プリントを用意して配付する
1-2	海洋観測物語	海洋環境の変化はどのようにして見つけれられたのかを学ぶ。	観測・調査が、環境問題の解決に必要な不可欠であることについての理解を深める。	市川 洋	1・2・3	45分	1	70人	プロジェクタ、スクリーン	・資料を配付する

2. 身近な自然

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
2-1	みんなのトンボ池	トンボのすむ池の環境について、グループ等で討論を通して、自分とは違う観点で環境を見ているほかの人の意見を聞く	人間の土地利用が生き物の生息地に与える影響が検討できる	林 但	1・2・3	90分	2・4	40人	模造紙	
2-2	猿島って知ってる？	エコミュージアム猿島について自然から歴史的文化遺産まで調べてみよう	・植物や生物の営みを知る ・歴史的文化遺産を知る	林 但	1・2・3	90分	2・3・4	40人	バインダー	・プリントを用意して配付する ・補助スタッフが必要

3. 廃棄物

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
3-1	海のごみ	・海辺のごみを拾う ・クラフトに活用	・海辺のごみの出所を知る ・クラフトの楽しさを知る	林 但	1・2・3	45分	2・4	40人	ひも、接着剤、模造紙など	補助スタッフが必要
3-2	プラスチック包装容器と花王のとりにくみについて	増え続けるプラスチックごみの課題に対して自分ができることを考える講座です。メーカーとしての花王の取組についても紹介しています。	よりすこやかな地球のために、一人ひとりいま何ができるかを考えます。	花王グループ カスタマー マーケティング グ(株)	1・2・3	45～60	1・4	10人～	プロジェクター、スクリーン、マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大きさにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までにご連絡ください

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

4. 総 合

番号	テ ー マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	対象学年	授業時間	授業形式	授業ができる目安 (最大人数)	必要物品	備 考
4-1	身近なエネルギー節約	考え、実行するに必要な理科知識を断然の原理等具体例によって覚える。節約、天気、風速、事故等に注意する習慣をつける	勉強も仕事も原理の理解、反復練習、確認、なんでも興味と疑問を持ち考え楽に面白くできることを悟る。	笹岡 治郎	1・2・3	60分	1・2	10人	断熱材、温度測定器、温度計、ピーカー、資料コピー	部活動等、少人数で実施
4-2	環境技術研究の目標と実績	バイオマス活用の盲点を埋める研究	問題点を洗い出し、森林の間伐材、剪定枝搬出の簡易などについて学ぶ	笹岡 治郎	1・2・3	60分	1・2	10人		部活動等、少人数で実施
4-3	地球を考え・救おう(1秒間のできごとから)	地球規模の環境変化、膨大な生産量、惑星としての地球の奇跡などから1秒間の出来事の説明から将来に向けてのテーマ・課題の考察	地球の大切さ、地球環境保全についての問題点の提起を講義するので、それを受けて生徒自ら考える。(正解はありません。考えることが大切。)	小嶋 修一	1・2・3	・講義のみ45分 ・検討・発表さらに45分	1・4	35人	PC、プロジェクター、スクリーン	・講義のみでも構わない ・生徒の検討・発表は時間を変えた方が良い ・夏休みの自由課題に選んでも良い。
4-4	環境への理解と、保全活動への道筋(PWサイエンス&シビック+α)	・建てるべきか建てざるべきか？ ①みんなのトンボ池の進化型→これが欲しかった？ ②NHK地球データマップを読んでSDGsを考える	課題解決ワークショップを通じて、保全活動のプロセスとタイムラインの理解と実践を計る	榎本 裕	1・2・3	1~3時間	4	20人	模造紙、付箋数種類、マーカーセット、A4用紙数枚ずつ	補助者1名 ①②の付加具合により時間が異なる
4-5	安心安全ガスの防災	身を守るため、まずはそれらのメカニズムや特徴を知る事が不可欠。ここでは都市ガスの性質・特徴を学び、ガスメーターが止まってしまった場合などの復帰操作(実機)なども行う	地震大国の日本。地震が起きた時、ガスの臭いがした時、子供たちが『自身で生き抜く』ためにどのような行動をとるべきか。	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	1・2・3	45分	1	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時~6校時 土・日・祝日は不可
4-6	ガスの歴史とくらしの変化	日本で最初ガス事業を起こした人。エネルギーの開幕として登場した『ガス燈』明治の人々がどのような感情を抱いたのか。当時のガス燈職人紹介	文明開化で最初に取り入れられた都市ガス。昔と今の機器の発展などを知り一次エネルギーの移り変わりを知る。	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	1・2・3	45分	1	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時~6校時 土・日・祝日は不可
4-6	都市ガスが家に届くまで	エネルギー自給率の少ない日本。大半を海外から輸入。また、環境を考えた化石燃料の推移。ここでは石炭・石油の実物を紹介	都市ガスの長い道のり(製造から家に届くまで)を全て知ること、エネルギーの大切さ、家庭で出来る省エネを学びとる。	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	1・2・3	45分	1	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時~6校時 土・日・祝日は不可
4-7	燃料電池って何だろう	クリーンで効率的な次世代発電システム。再生可能エネルギーなどの長短所も実験を通して学びます。	地球温暖化である二酸化炭素を出さない科学の電気『燃料電池』を紹介。実験では実際に発電し、体験します。電気とエネルギーの発展を学びとる	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	1・2・3	45分	1・2	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時~6校時 土・日・祝日は不可
4-8	はじめよう！エコ・クッキング	食品ロスは全国で約600万トン。食品を作るための大量消費エネルギー。地産地消・旬の食材など多面に渡り食と環境や省エネ施策を紹介します。	買物・料理・食事・片付けにも大量のエネルギーが関わっていることを知り家庭でも実践出来ることを話し合うきっかけ作りとして学びとる	東京ガスネットワーク(株) 神奈川学校教育情報センター	1・2・3	45分	1・2	40人	パワーポイント TV(液晶大型)またはプロジェクター	駐車場1台分の確保 授業は3校時~6校時 土・日・祝日は不可
4-9	人にやさしいモノづくり講座	花王がメーカーとして取り組んでいる「よきモノづくり」の考え方に触れ、商品を通した多様性への配慮について学びます。	ユニバーサルデザインについて企業の取り組みを知ることで「誰も置き去りにしない」というSDGsが掲げた普遍的な目標について考えます。	花王グループカスタマーマーケティング(株)	1・2・3	50~60	1・4	10人~	プロジェクター、スクリーン、マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大きさにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までにご連絡ください

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

令和5年度環境教育指導者等派遣事業テーマ一覧(一般)

令和4年度追加されたテーマ

1. 水環境

番号	テ ー マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
1-1	海っていいな	海が見えるところでじっと海を見る	人が抱く感想の違いを知る	林 但	45分	2・3・4	40人		プリントを用意して配付する

2. 身近な自然

番号	テ ー マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
2-1	みんなのトンボ池	トンボのすみ池の環境について、グループ等で討論を通して、自分とは違う観点で環境を見ているほかの人の意見を聞く	人間の土地利用が生き物の生息地に与える影響が検討できる	林 但	90分	2・4	40人	模造紙	
2-2	猿島って知ってる？	エコミュージアム猿島について自然から歴史的文化遺産まで調べてみよう	・植物や生物の営みを知る ・歴史的文化遺産を知る	林 但	120分	2・3・4	40人	バインダー	・プリントを用意して配付する ・補助スタッフが必要
2-3	鷹取山で自然観察会	鷹取山の観察路を歩き、野草、昆虫、野鳥など季節の自然を発見する。	地元の自然を知り、興味・関心を持ってもらう。	鷹取山自然観察会	2時間程度	3	30人	・メモ帳 ・鉛筆 ・飲み物 ・あれば虫眼鏡	・長袖 ・長ズボン ・山道を歩くので、滑りにくい靴

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

3. 廃棄物

番号	テ ー マ	内 容	学習の目標・効果	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
3-1	海のごみ	・海辺のごみを拾う ・クラフトに活用	・海辺のごみの出所を知る ・クラフトの楽しさを知る	林 但	45分	2・4	40人	ひも、接着剤、模造紙など	補助スタッフが必要
3-2	プラスチック包装容器と花王のとりくみについて	増え続けるプラスチックごみの課題に対して自分ができることを考える講座です。メーカーとしての花王の取組についても紹介しています。	よりすこやかな地球のために、一人ひとりいま何ができるかを考えます。	花王グループカスタマーマーケティング(株)	45～60	1・4	10人～	プロジェクター、スクリーン、マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大きさにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までにご連絡ください

4. 地球温暖化

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
4-1	地球温暖化と海	地球温暖化によって海面上昇などの現象が海で起こる仕組みを学ぶ。	なぜ、地球温暖化を防ぐ必要があるのか、その理由を理解し、積極的な環境活動に取り組むようになることを目指す。	市川 洋	45分	1	70人	プロジェクタ、スクリーン	資料を配付する

5. 総 合

番号	テ ー マ	内容	学習の目標・効果	指導者	授業時間	授業形式	授業ができる目安(最大人数)	必要物品	備 考
5-1	身近なエネルギー節約	考え、実行するに必要な理科知識を断熱の原理等具体例によって覚える。節約、天気、風速、事故等に注意する習慣をつける	勉強も仕事も原理の理解、反復練習、確認、なんでも興味と疑問を持ち考え案に面白くできることを悟る	笹岡 治郎	60分	1・2	30人	断熱材、温度測定器、温度計、ピーカー、資料コピー	
5-2	環境への理解と、保全活動への道筋(PWサイエンス&シンビツク+α)	・建てるべきか建てざるべきか？ ①みんなのトンボ池の進化型→これが欲しかった？ ②NHK地球データマップを読んでSDGsを考える	課題解決ワークショップを通じて、保全活動のプロセスとタイムラインの理解と実践を計る	榎本 裕	1～3時間	4	20人	模造紙、付箋数種類、マーカーセット、A4用紙数枚ずつ	補助者1名 ①②の付加具合により時間が異なる
5-3	親子で学ぶ～地球環境と省エネ～上手な電気の使い方	身近な電気製品を通じて省エネの大切さを知り、私たちが生活の中で取り組める地球環境保護活動について学びます		パナソニック株式会社	60分	4	20組	筆記用具 プロジェクターorスクリーン	小学校4年以上（保護者同伴） 会場（会議室等）のご用意をお願いします
5-4	大人向け講座～地球環境と省エネ～上手な電気の使い方	身近な電気製品を通じて省エネの大切さを知り、私たちが生活の中で取り組める地球環境保護活動について学びます		パナソニック株式会社	60分	4	30名	筆記用具 プロジェクターorスクリーン	会場（会議室等）のご用意をお願いします
5-5	エネルギーの創・蓄・省と工作教室	最初に「エネルギーの創・蓄・省」について学び、次にキットを自作し体感することで学習内容の理解をさらに深めます		パナソニック株式会社	60分	4	20組	筆記用具 プロジェクターorスクリーン	小学校4年以上（保護者同伴） 材料費のみ有償 1,200円(税込)/ 個 会場（会議室等）のご用意をお願いします
5-6	人にやさしいモノづくり講座	花王がメーカーとして取り組んでいる「よきモノづくり」の考え方に触れ、商品を通じた多様性への配慮について学びます。	ユニバーサルデザインについて企業の取り組みを知ることで「誰も置き去りにしない」というSDGsが掲げた普遍的な目標について考えます。	花王グループカスタマーマーケティング(株)	50～60	1・4	10人～	プロジェクター、スクリーン、マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大きさにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までにご連絡ください
5-7	洗剤を「つくる責任つかう責任」	SDGs目標12「つくる責任つかう責任」に取り組む花王の姿勢、資源節約のための「つかう」側の工夫を紹介します。	SDGsを達成するために一人ひとりができる第一歩を考えてもらいます。	花王グループカスタマーマーケティング(株)	45～60	1・4	10人～	プロジェクター、スクリーン、マイク(※)、スピーカー(※) (※)会場の大きさにより必要な場合があります	実施希望日の2か月程度前までにご連絡ください

☆ 授業形式は、(1:講義のみ 2:実習実験 3:野外活動 4:ワークショップ 5:その他)

環境教育指導者等派遣申請書

横須賀市環境部環境政策課長

申請者 住所 _____

氏名 _____

環境教育指導者等の派遣について、下記のとおり申請いたします。

学 校 名 / 団 体 名		担 当 者	
連絡先と連絡希望時間帯			
○電話： () 平日 時ごろ			
○E-mailでの連絡を 希望する ・ 希望しない ※希望する場合はアドレスをご記入ください。			

実施対象等 (学年・組等)		参加予定人数	
		人	
実施希望日	第1希望	令和 年 月 日 ()	時 分 ~ 時 分
	第2希望	令和 年 月 日 ()	時 分 ~ 時 分
※希望日が2か月以内の場合、ご希望に添えないことがございます。			
実施会場	会場名： 所 在： 電 話：		
希望テーマ	※テーマ一覧から選んでください		
具体的に希望する内容など			
備 考			

横須賀市 環境部環境政策課

〒238-8550 横須賀市小川町1-1

電話 046(822)8327

F A X 046(823)0865

E-mail ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp